

【経済理論】 松本 昭夫 ゼミ



演習テーマ： 応用ミクロ経済学： 経済理論に基づき私たちの行動を分析する

演習のテーマは、「応用ミクロ経済学」で、ミクロ経済学を基礎に置き、私たちの日々の行動分析を行います。

活動内容

学生生活の集大成として、卒業論文を作成することをゼミ活動の最終目標とします。その為に、「自分で考える」、「考えたことを文章にまとめる」、「文章にまとめたことを報告する」ことを中心にゼミの活動を行います。ここ数年は「経済動学(Economic Dynamics)」について勉強しています。基礎ミクロの授業で需要曲線と供給曲線の交わるところで均衡価格が決まるということ学びました。経済動学では均衡価格以外の価格から出発したらはたして均衡価格に近付いていくのか、あるいは近づいていかずに遠ざかるのかなど、経済の変数が時間と共にどのように変化していくのかを理論的および数値的に考えます。基礎ミクロ経済学、基礎マクロ経済学の知識と基礎的な数学の知識を前提として、一段レベルを上げて勉強します。休まずに不断の努力が必要です。

4年生の卒論を書くときに

「経済学って、結構おもしろい！！」

と思えるようになるのが目標です。

2年生ゼミ

経済理論は具体的な経済現象を抽象化して構築されているので、やや「味気ない」のが初学者にとっての悩みです。2年生のゼミではなるべく具体的な事例を取り上げて、教科書の経済理論との対応関係を理解するようにします。たとえば、農林水産月報のようなところから、バナナ、みかん、リンゴ等々の卸売価格と生産量のデータを集め、経済学の最も基本的な考え方である「需要と供給の法則」が成立しているか否かを調べる。成立していないとすれば何が原因なのかを考える。基礎的な経済と経済数学の習得を目指し、テキストの輪読を行います。例年3月にはゼミ合宿をおこない、集中的に勉強します。時間があれば数学の計算ソフトである Mathematica の基礎的な部分を習得するためにコンピュータの実習も行いたいと思っています。Word や PowerPoint は使いこなせるように各自で自習してください。

3年生ゼミ

経済理論をしっかり学ぶことを目標にします。中級程度のミクロ経済学の教科書か専門論文を精読します。完全競争や独占理論でミクロ経済学の基本的な考え方を習得した後に、寡占理論を時間をかけて勉強します。完全競争企業や独占企業は2つの極端なケースになるので、その中間である寡占理論を基にして、現実の企業の経済活動を分析します。学内のゼミ大会に出場しますので、4月にテーマを決めて、10月の大会までその準備もします。できれば夏に合宿を行う予定です。ゼミ大会終了後はゼミレポートの作成をおこない、12月末か翌年1月の年度末報告会で、30分程度の報告をおこないます。

4年生ゼミ

具体的なテーマを設定して(3年時に作成したゼミ・レポートでのテーマを下地にすることが多い)、卒業論文を作成します。論文の作成には時間がかかります。そして時間をかけるほどよい論文が仕上がります。各ゼミナリステンは毎週のゼミで論文の進捗状況を報告し、他の人との議論や意見交換を通じて論文の精緻化に努めます。完成した論文は年度末の卒論報告会で30分程度のプレゼンテーションを行う予定。2016年度は以下の卒論が提出されました。

- * 日本における人口減少社会 -これからの社会の在り方-
- * 戦後のドイツ経済と経済大国へ至るまで
- * 現代対応型のマーケティング
- * 日本の労働問題
- * 進化する人口知能とどう向き合うか